

シンポジウム「日常会話コーパス」VI
於：国立国語研究所（2021年3月4日）

『日本語日常会話コーパス』 における自称使用

河野礼実（山梨学院大学）

自称のいろいろ

あたくし

自分

あーちゃん

あやみ

おれ

かわの

うち

わたし

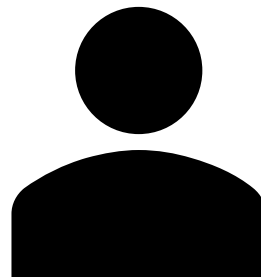
パパ

ぼく

お母さん

あたし

ねえちゃん



これまで自称代名詞について言われてきたこと

日本語の人称は、話し手の属性や会話の相手・場によって異なる。特に自称は性別による使い分けがかなり明確に区別されている。

- 「**あたし**」は 女性専用形式
- 「**あたし**」<「**わたし**」フォーマルな場面で使用
- さらにフォーマルなのが「**わたくし**」
- 「**ぼく**」「**おれ**」は 男性専用形式
- 「**おれ**」はインフォーマル
- 「**わたし**」は男女ともに使用されるが、
 - 男性はフォーマルな場面で特に使用
 - 女性はフォーマル～インフォーマル 幅広い場面で使用

**実際の日常会話では、
どのような自称が使われているのか？**

本発表の流れ

1. 自称に関する先行研究
2. 分析材料
3. 分析対象と抽出された自称
4. 分析結果① 親族呼称 & 名前（愛称を含む）
5. 分析結果② 自称代名詞
6. まとめ

【コーパス内の自称】先行研究

◆ 小林（1997）

職場内の会話で使われる自称

『女性のことば・職場編』 『男性のことば・職場編』

女性話者 「わたし」「あたし」「わたくし」（3例）

男性話者 「わたし」「ぼく」「おれ」

◆ 小林（2016）

日常会話で使われる自称

『談話資料 日常生活のことば』

➤ 談話参加者 179名 / 自称 907例

- ・ 『女・職』 『男・職』 では見られなかった多様な自称
- ・ 複数の自称混用（共通した使い分けの基準は見出されず）

分析材料

- **日本語日常会話コーパス（CEJC）
モニター版（2018年度版）**
- **124会話 約50時間分**
 - ※全126会話から下記2データは除外。
 - ・動画データのない会話データ
 - ・ICレコーダーを装着していない話者が多数出てくるため、
発話者の特定が難しいデータ
- **登場話者数 449名（異なり）**
- **総発話語数 599,928語**

分析対象とした自称

- 文字化データと録画データの両方を確認
→ 自称であると確認できたものののみ抽出



2640例

- ・ 除外されたものの中には…

自称代名詞を対称として使用 3例

- ① 母 : 僕の少ないやつにしな。 「僕」= 息子
- ② 母 : 僕ちゃん ほら。 「僕ちゃん」= 息子
- ③ 玲子: これあたし?。
辰嶋: あたし。 「あたし」= 玲子

抽出された自称

2640例のうち

- 引用内での使用 201例 ⇒ 今回除外

2439例のうち

- 単数 2263 例 / 複数 176例

対象会話データ全124会話のうち

自称使用が1例もなかったのは、1会話のみ

ひとりの話者が複数の自称を使用



➤ 同一場面・同一の相手、同じ話題の中で複数の自称

ひとりの話者が複数の自称を使用（使用例）

おれ

妻

しかし(6.855)俺しか開けられないんじゃない。これ。

ぼく

妻
義母

僕の元(0.217)会社の(0.555)(R 竹内)さんて(0.162)(W (D オ)|男) 男の先輩いるんですけど。

(F あーの:)(0.171)義理の(0.2)兄の(0.444)お母さんが:やっぱ熊本に (W ヤッシロ| (Y ヤッシロ|八代))に(0.476)いるので:(1.265)今 一時的に実家に あたしの(0.249)実家に来てますね。

ぼく

あたし

妻
友人
夫婦

僕がやってることを(0.232)を(0.754)(X #)(0.135)なんか何人かでやってもらうとか:。

思いますけどね:ってゆわないとなんか(W (D オ)|俺)俺がそう (L みたいだからさ)。

おれ

友人

むしろ(0.142)世の中にとってはいい(0.225)じゃないかなって僕最近思うんですけどね。

ぼく

わたしも(1.022)四年前?(0.212)三年前?(0.521)行きましたよ。

わたし

現れた自称の種類

	自称代名詞	親族呼称	名前 (愛称含む)	計
単数	2039	136	88	2263
複数	173	2	1	176
計	2212	138	89	2439

分析結果① 親族呼称 & 名前

- 親族呼称・名前（愛称を含む）自称として使用
→ 2例を除き、**家族・親戚間の会話**

例① 70代女性

だから最近**お母さん**新宿行くのに ガード下からね(0.35)乗って。

例② 40代男性

もう **パパ**忘れちゃったよ。

例③ 20代女性

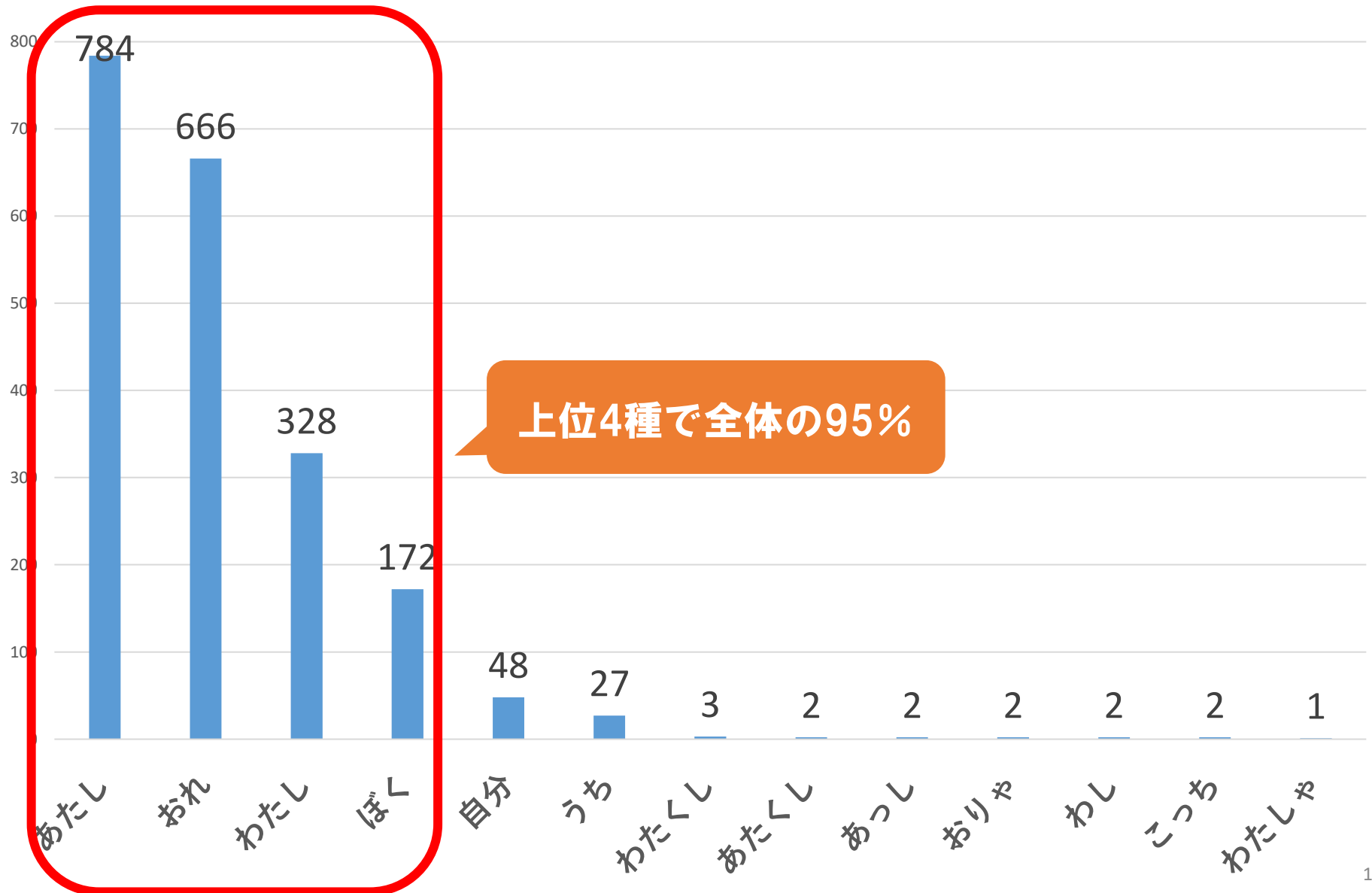
(**R ルリ**) 肩の凝りがすごくてさ:。

- 名前（愛称を含む） ～40代前半
- 親族呼称 30代後半～

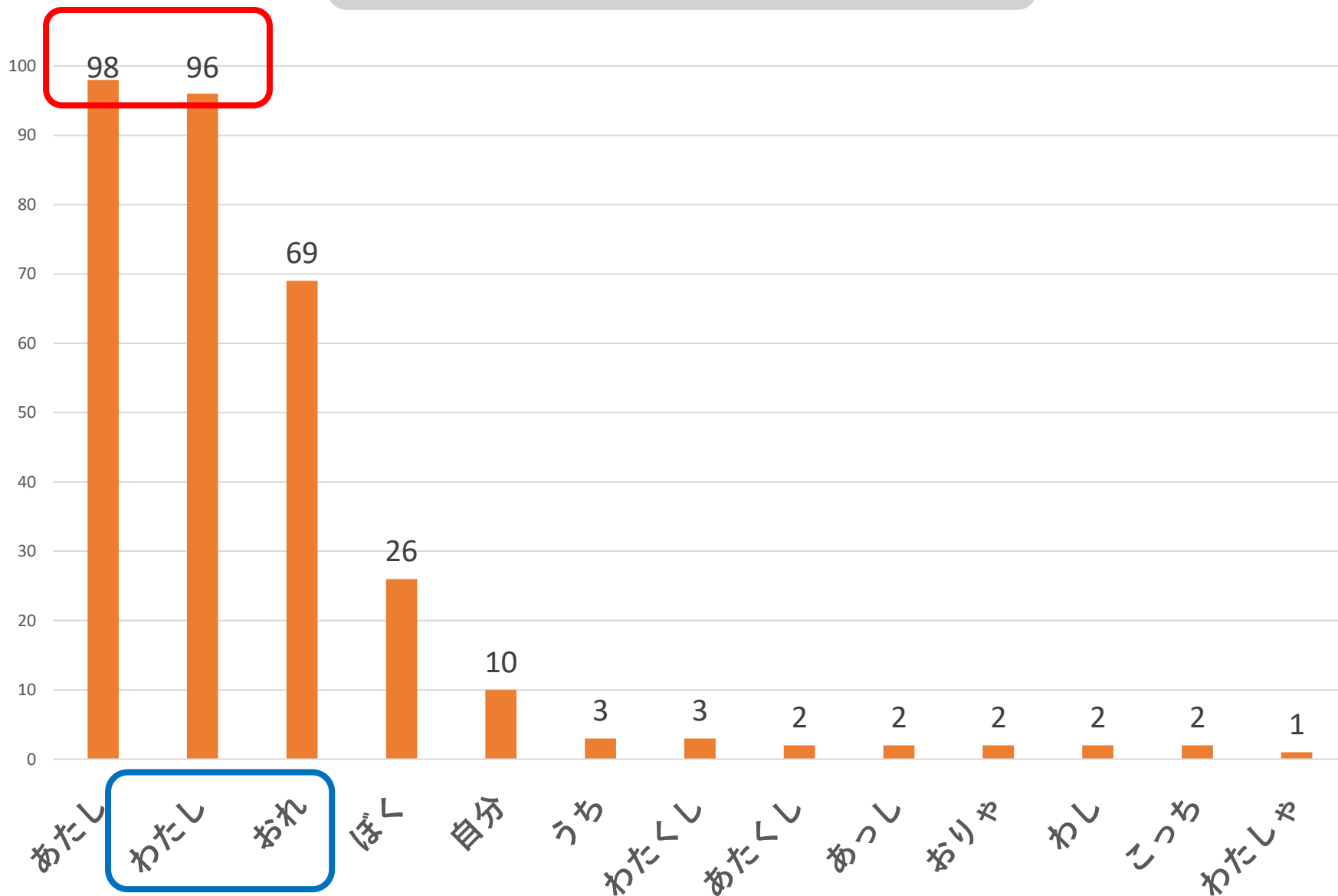
分析結果② 自称代名詞

	自称代名詞	親族呼称	名前 (愛称含む)	計
単数	2039	136	88	2263
複数	173	2	1	176
計	2212	138	89	2439

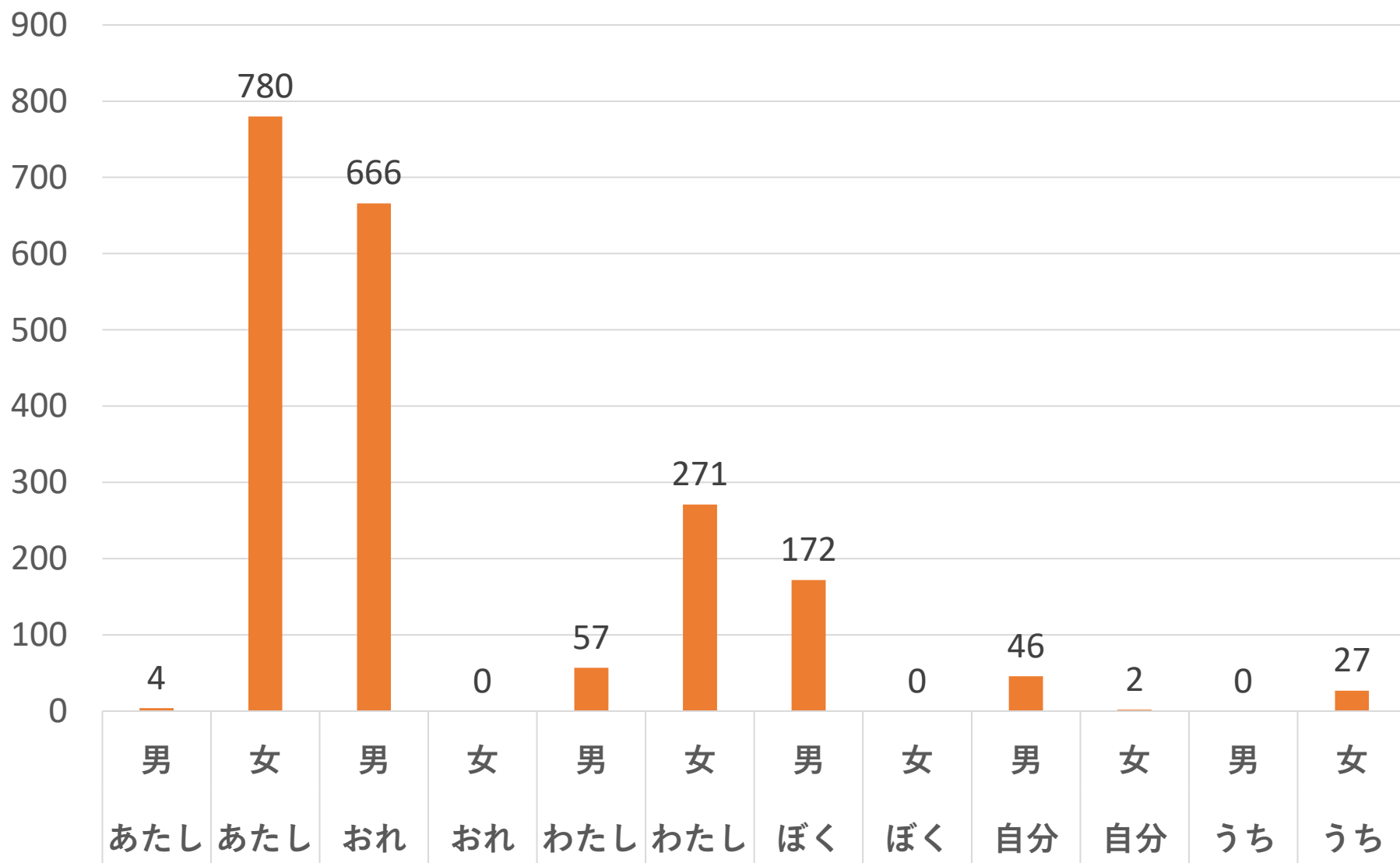
自称代名詞（出現数）



自称代名詞（使用者数）



自称代名詞（出現数） 男女別



「あたし」「わたし」

- 「あたし」 784例 98名
 - 出現数・使用者数ともに1位
 - 出現数「わたし」の倍以上
 - 女性の使用がほとんど。男性4例。
- 「わたし」 328例 96名
 - 男女共に使用されるが、女性の方が多い。

「あたし」「わたし」

会話の形式

	あたし				わたし			
	男		女		男		女	
雑談	4	100%	556	71.3%	49	86.0%	197	72.7%
用談相談	0	0.0%	170	21.8%	4	7.0%	57	21.0%
会議会合	0	0.0%	54	6.9%	4	7.0%	17	6.3%
計	4	100%	780	100%	57	100%	271	100%

【女性話者】 「あたし」「わたし」 ほぼ同比率

【男性話者】 「わたし」 フォーマルな場面で使用？
⇒ 雑談での使用が圧倒的に多い。

「あたし」「わたし」

文体・スピーチレベル

	あたし				わたし			
	男		女		男		女	
敬体	3	75.0%	69	8.8%	20	35.1%	39	14.4%
常体	0	0.0%	564	72.3%	34	59.6%	204	75.3%
不明	1	25.0%	147	18.8%	3	5.3%	28	10.3%
計	4	100%	780	100%	57	100%	271	100%

【女性話者】 常体使用率にほぼ差はない。

【男性話者】 「わたし」フォーマル？
⇒ 常体でもかなり使用されている。

「わたくし」「あたくし」

➤ 「わたくし」「あたくし」 5例

→ **家族、友人知人、同僚との雑談で使用**

例) 50代女性、飲食店で姉と昼食を食べながら ※他の発話では「あたし」

日野 : 竹富島に行きたいってゆってたっけ。

日野 : 星のや 竹富島。

さくら : ふーん。

日野 : もうあたくしも定年なので:。

さくら : うん うん。

日野 : あと:ね:(0.297)ちょっとで。

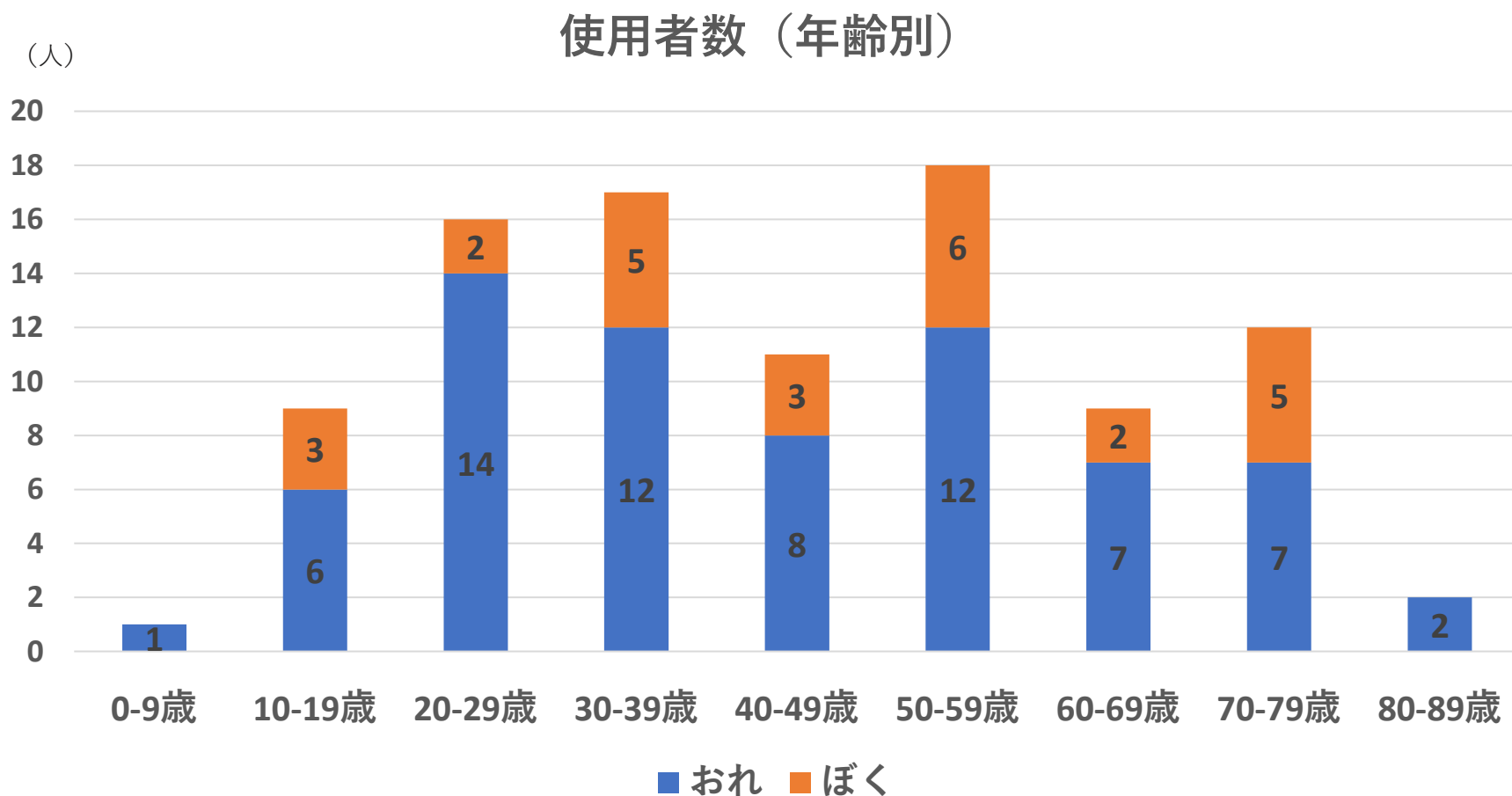
- どの会話も関係性は親しい相手
- 相手との距離を作るために使用されているわけではない。
- 一時的なスタイルチェンジ
- あえて改まった表現にすることで、会話のアクセントに。

「おれ」「ぼく」

- 「おれ」 666例 69名
 - 男性の自称として出現数・使用者数1位
- 「おれ」「ぼく」
 - 女性の使用は、CEJCではゼロ

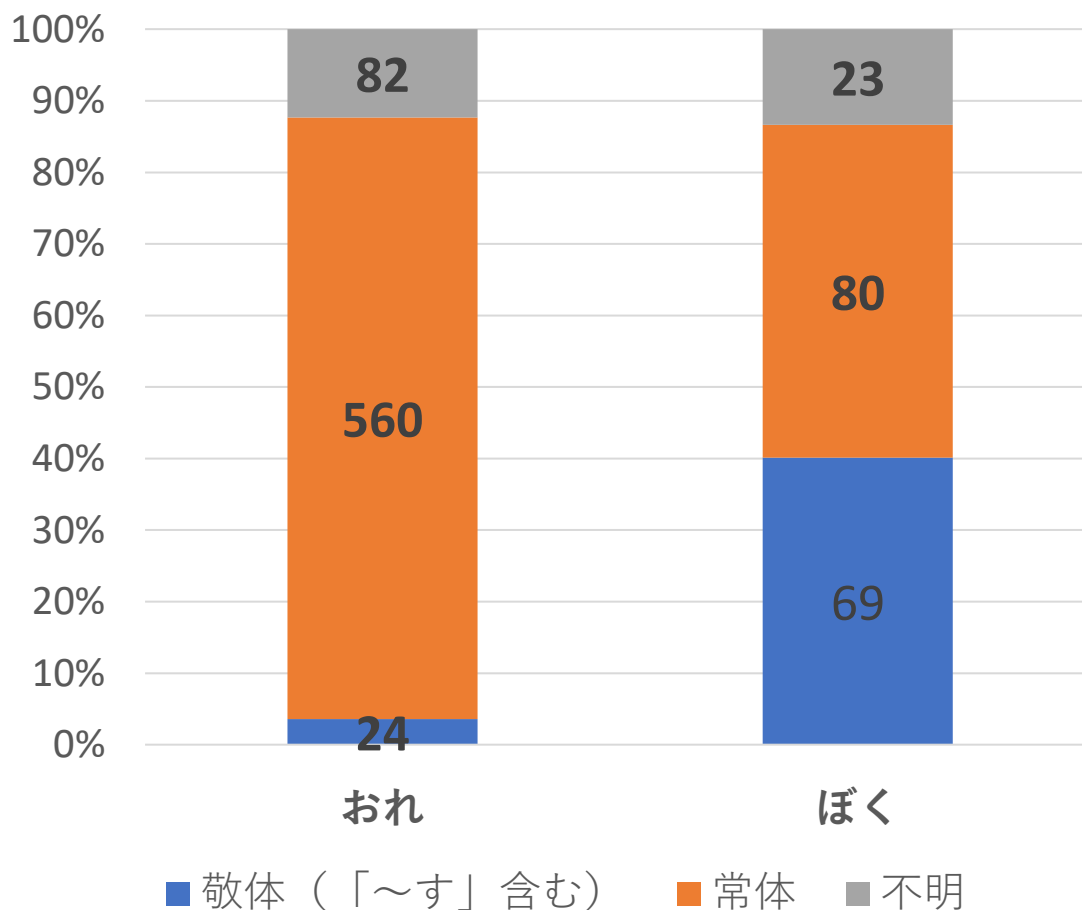
「おれ」「ぼく」

➤ おれ 666例 / ぼく 172例



「おれ」「ぼく」

文体・スピーチレベル



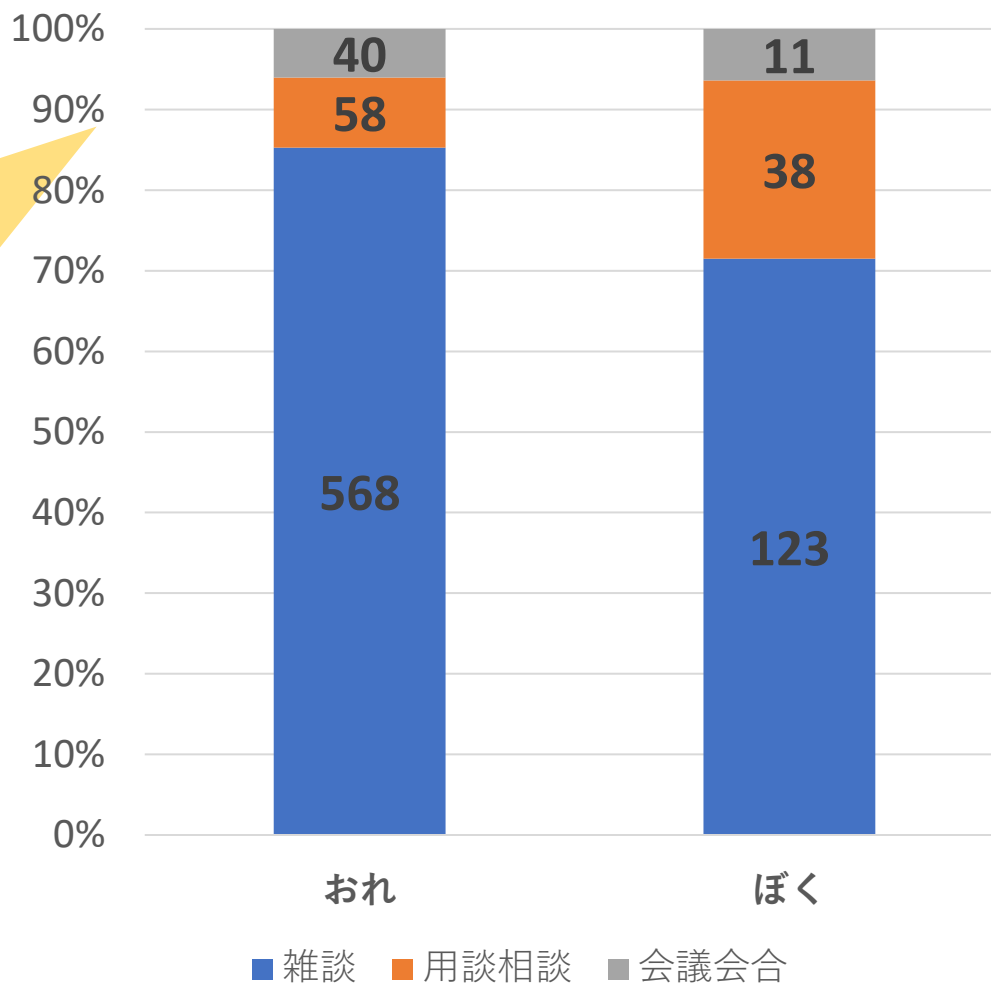
敬体との
共起

「ぼく」が
多い

「おれ」「ぼく」

形式

「おれ」
用談相談・
会議会合でも
100例近く
見られる



仕事関係の場面でも使われる「おれ」

例① 50代男性 取引先との会話

「(F あの:) 大した売り上げの(Y キン|金)じゃないのに(0.51)浅草橋%から来てもらうのが:(0.559)ちょっと(0.693)俺だったらこの一万八千円ぐらいの売り上げじゃ来ねえけど(L と思うんだよ)。」

例② 60代男性 取引先との会話

「俺もね 何回かね(0.262)朝一番でね(0.225)栃木工場から(0.162)朝の便で来るわけ。」

◆ 男性話者が仕事関係で用いる自称（単数）

- ・ 「おれ」＋敬体 はゼロ
- ・ 敬体の発話の自称は「ぼく」「わたし」

※ 「おれ」使用 → 親しい関係性

目上の相手に使われる「おれ」

◆ 大学生が先生に使う「おれ」

例) 20代大学院生 教員との会話

「じゃあ 水曜日だったら(W (D オ)|俺)俺(0.159)今度 行きま(L す)。」

※ 「おれ」 + 常体 はゼロ

男子大学（院）生が教員に使う自称

おれ

■ 大学院生A

- 誰が相手でも「**おれ**」（目上の相手でも）「自分」 1例だけ
- 教員がいる場での複数の自称：「我ら」

ぼく

おれ

■ 大学生B

- 教員が同席している飲み会「**ぼく**」がメイン
ときどき「**おれ**」※同席する先輩・後輩に対する発話
- 教員がいる場での複数の自称：「ぼくら」

男子大学（院）生が教員に使う自称

■ 大学生C

自分

- ・ 家族・友人との会話は「おれ」
- ・ 教員との会話「**自分**」
- ・ 「**わたし**」1例 直後に「我々」と言い直す

ただ (U なんか) (F あの) (X #) ゼミ論:集は(0.138)**わたし** **我々** からは絶対ないので。

- ・ 教員がいる場での複数の自称：
「ぼくら」「自分ら」「自分たち」「我々」「こちら」

それぞれがそれぞれの方法でネゴシエーション

まとめ

- 自称に対するこれまでの既成概念・イメージと使用実態とを比較すると、一致しない点も多く見られた。
- また、実際の自称使用は、既成概念・イメージほど単純ではないということが改めて明らかになった。
- 話者の属性、相手との関係性、会話の形式、場面等、同じ要素が揃っていても自称は同じとは限らない。それぞれの話者が言語資源から選びとっている。

主な参考文献

- 金丸芙美（1997）「人称代名詞・呼称」井出祥子編『女性語の世界』 pp.15-32 明治書院
- 小林美恵子（1997）「自称・対称は中性化するか」現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』 pp.113-137 ひつじ書房
- 小林美恵子（2011）「自称・対称は中性化するか」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば（職場編）』 pp.113-137 ひつじ書房
- 小林美恵子（2016）「「日常生活」における自称詞一特徴と使い分けー」現代日本語研究会編『談話資料 日常生活のことば』 pp.41-72 ひつじ書房
- 桜井隆（2002）「「おれ」と「ぼく」」現代日本語研究会編『男性のことば・職場編』 pp.121-132 ひつじ書房
- 桜井隆（2011）「「おれ」と「ぼく」」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば（職場編）』 pp.121-132 ひつじ書房
- 田窪行則（1997）「日本語の人称表現」『視点と言語行動』くろしお出版 pp.13-44